

「令和7年度病虫害発生予報第6号」の発表について

○今後の主要な病虫害の発生予察情報（発生予報）については次のとおりです。

- ・ 水稻では、斑点米カメムシ類（イネカメムシを含む）の発生について1道2府26県で注意報が発表されており（8月1日現在）、四国、沖縄を除く全国の複数の地域で多くなると予想されています。
- ・ 豆類では、マメシンクイガの発生が、北海道及び東北の一部の地域で多くなると予想されています。
- ・ 野菜・花きでは、オオタバコガの発生が、北東北、北陸、東海及び近畿の一部の地域で多くなると予想されています。
- ・ 果樹では、果樹カメムシ類の発生が、北海道、東北及び東海の一部の地域で多くなると予想されています。

この他、ねぎのアザミウマ類等、地域によっては多くなると予想されている病虫害があるので注意してください。

また、今後も継続して気温が高くなる見込みであることから、病虫害の発生量の増加や発生時期の長期化により、農作物への被害が増えるおそれがありますので、発生状況を注意し、適期の防除を実施してください。

国の発生予察情報について

国は都道府県の協力の下、植物防疫法（昭和25年法律第151号）に基づき、病虫害の防除を適時で経済的なものにするため、気象、農作物の生育状況、病虫害の発生調査の結果等を分析し、病虫害の発生予察及び防除対策に係る情報（発生予察情報）を提供しています。

本予報は、都道府県が提供する発生予察情報を取りまとめた情報になりますので、地域における情報の詳細は、都道府県病虫害防除所のホームページ等を参照してください。

国の病虫害発生予察情報及び都道府県病虫害防除所のリンク

参照URL: <https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/yosatu/index.html>

気象

気象庁の向こう1か月の予報（7月31日付け）では、気温は北日本、東日本、西日本では高く、沖縄・奄美でほぼ平年並と予想されています。降水量は、北日本日本海側、東日本日本海側で平年並が多い、北日本太平洋側、東日本太平洋側、西日本ではほぼ平年並、沖縄・奄美で平年並か少ないと予想されています。

気象庁ホームページ

参照URL: [気象庁 Japan Meteorological Agency](https://www.jma.go.jp/jma/)（外部リンク）

水稻で各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病虫害及びその地域

作物名	病虫害名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
水稻	いもち病	甲信	北東北
	コブノメイガ	北東北	東海、北九州
	ごま葉枯病	東海	北東北
	斑点米カメムシ類	北海道、東北、関東、甲信、北陸、東海、近畿、中国、九州	四国
	紋枯病		北東北、甲信、中国、九州

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

・**斑点米カメムシ類**の発生が、北海道、東北、関東、甲信、北陸、東海、近畿、中国及び九州の一部の地域で多くなると予想されており、29道府県（延べ36件）から注意報が発表されています。

本虫は、多くの種がほ場周辺の雑草に生息し、出穂期になるとほ場に侵入し穂を加害します。被害の程度は、出穂期、ほ場への本虫の侵入量、カメムシの発生種の構成等によって異なるので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、ほ場の観察を行い、適期に防除を実施してください。また、地域の作型や斑点米カメムシ類の発生状況により異なりますが、地域の実情に応じた防除を徹底し、さらに発生が多い場合には追加の薬剤散布を実施してください。

水田周辺雑草の除草は本虫の発生量の抑制に効果的ですが、出穂期直前の除草は、本虫の水田への侵入を助長し被害を増加させるおそれがあるため、出穂期の10日前までに完了してください。また、地域一斉で除草すると効果的です。

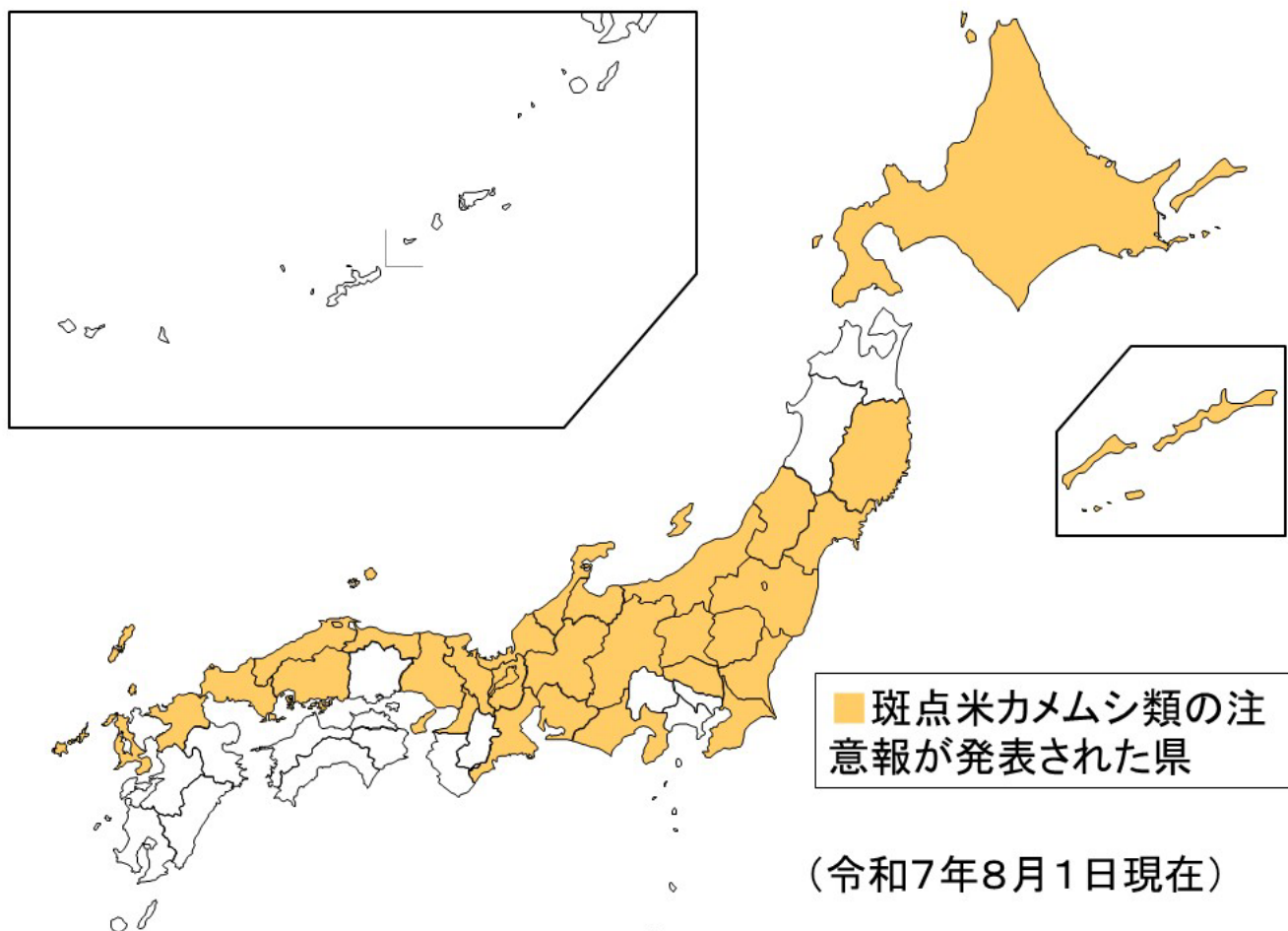
このほか、斑点米カメムシ類に含まれる**イネカメムシ**は、斑点米だけでなく不稔被害も引き起こし、令和6年度は37都府県で確認され、イネカメムシによる減収被害が生じた地域も報告されています。イネカメムシによる被害を防止するため、下記の取組を実施してください。

・本虫による不稔を防止するためには、他の主要な斑点米カメムシ類と異なり、出穂期に防除を行うことが重要です。過去から発生量が多い、または発生量が増加傾向の地域では、不稔を防止するため、出穂期の防除を実施してください。なお、高温によって出穂期が早まるおそれがあることから防除適期を逃さないよう注意してください。

・本虫は、斑点米も生じさせることから、発生が多い場合は、斑点米の発生を防止するため出穂期以降の2回目防除を実施してください。

・一部では薬剤抵抗性個体が確認されていることから、同一系統の薬剤の連用は避け、ローテーション散布を実施してください。

・本虫は、稲を好んで加害することから、防除が行われていないほ場（飼料用米ほ場等）、周囲より出穂が早い品種又は遅い品種のほ場は、集中加害を受ける場合があることから、これらのほ場は発生に注意してください。なお、イネカメムシの多くは、昼間は株元に潜んでいることから、早朝や夕方が見つけやすいです。



・いもち病の発生が、甲信の一部の地域で多くなると予想されており、長野県から注意報が発表されています。今後、断続的な降雨がある場合には本病が急激に発生するおそれがあります。都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、水田の観察を行い、葉いもちの発生が多く、既に上位葉にも病斑が見られるほ場では、穂いもちに進展しないように薬剤散布を実施してください。なお、一部の薬剤に対して耐性菌が発生しているので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に効果的な薬剤による防除を実施してください。

豆類で各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病虫害及びその地域

作物名	病虫害名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
大豆	マメシンクイガ	北海道、東北	

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

・マメシンクイガの発生が、北海道及び東北の一部の地域で多くなると予想されており、北海道から注意報が発表されています。大豆の連作を行っているほ場では、ほ場外からの飛来に加え、ほ場内の越冬個体が発生し、発生量が増える可能性があるため、注意が必要です。都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、発生を確認したらできるだけ早く防除を実施してください。なお、本虫は薬剤抵抗性が発達しやすいので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。

野菜・花き

野菜・花きで各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病虫害及びその地域

作物名	病虫害名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
いちご	ハダニ類	四国、南九州	北九州
	炭疽病	南九州	東海
きゅうり	アザミウマ類	南関東	甲信
	コナジラミ類	南関東	甲信
トマト	コナジラミ類	南関東	南東北、甲信
ねぎ	アザミウマ類	東北、北陸、北九州	甲信、東海
アブラナ科共通	コナガ	北海道	甲信、北九州
きく	アザミウマ類	南東北	甲信
	ハダニ類	南東北	甲信
作物共通	オオタバコガ	北東北、北陸、東海、近畿	南東北、甲信、四国、南九州
	シロイチモジヨトウ	東北、東海	甲信
	ハスモンヨトウ	東海、南九州	

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

作物共通

・**オオタバコガ**の発生が、北東北、北陸、東海及び近畿の一部の地域で多くなると予想されており、富山県及び滋賀県から注意報が発表されています。ほ場を見回り発生状況に注意しつつ、都道府県が発表する発生予察情報等を参考に、適期に防除に実施してください。また、結球野菜では、結球内部に食入した場合に防除が難しくなることから、結球前に防除を実施してください。なお、本虫は薬剤抵抗性が発達しやすいので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。

ねぎ

・**アザミウマ類**の発生が、東北、北陸及び北九州の一部の地域で多くなると予想されており、富山県及び大分県から注意報が発表されています。ほ場を見回り発生状況に注意しつつ、都道府県が発表する発生予察情報等を参考に、発生初期から防除を実施してください。なお、本虫は薬剤抵抗性が発達しやすいので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。

果樹・茶で各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病虫害及びその地域

作物名	病虫害名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
かんきつ	アザミウマ類	東海、北九州	
	かいよう病	東海、九州	
	ハダニ類	九州	東海、中国
	黒点病	東海	南九州
なし	シンクイムシ類	北九州	東海、南九州
	ハダニ類	南東北、四国、北九州	東海、近畿、南九州
りんご	シンクイムシ類	北海道	甲信
	ハダニ類	東北	甲信
果樹共通	果樹カメムシ類	北海道、東北、東海	南関東、甲信
茶	アザミウマ類	九州	東海
	チャノミドリ ヒメヨコバイ		南関東、東海、九州
	ハダニ類	九州	近畿

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

果樹共通

・**果樹カメムシ類**の発生が、北海道、東北及び東海の一部の地域で多くなると予想されており、北海道、岩手県、秋田県、山形県、福島県から注意報が発表されています。今後、当年世代（越冬世代以降の世代）を中心に、餌を求めて園地を移動するようになります。本年の越冬世代の発生が多かった地域では当年世代の発生量に注意が必要です。

本虫の飛来状況は地域や園地により異なり、果樹カメムシ類の被害を防止するためには、飛来初期の防除が重要です。昨年は、ほ場の見回り頻度が少なかったため、飛来に気付くのが遅れ、被害が生じた事例が報告されています。都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、園内の観察をきめ細かく行い、飛来が認められた場合は、飛来初期から防除を実施してください。また、果樹カメムシ類は薄暮期から夜間を中心に活動するため、夕方の薬剤散布が効果的です。

また、春の発生量が少ない地域においても、スギ・ヒノキの球果が豊富な場合、主要種であるチャバネアオカメムシ及びツヤアオカメムシが増え、秋の発生量が増加するおそれがあることから、警戒を緩めずに対策に取り組むことが重要です。

なし

・**ハダニ類**の発生が、南東北、四国及び北九州の一部の地域で多くなると予想されており、徳島県から注意報が発表されています。ほ場を見回り発生状況に注意しつつ、都道府県が発表する発生予察情報等を参考に、発生初期から防除を実施してください。なお、本虫は薬剤抵抗性が発達しやすいので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。

都道府県が発表した警報、注意報及び特殊報

令和7年7月8日以降、都道府県が発表している警報、注意報及び特殊報は以下のとおりです。

警報

発表はありません。

注) 重要な病害虫が大発生することが予測され、かつ、早急に防除措置を講ずる必要がある場合に発表します。

注意報

発表月日	都道府県	対象作物	対象病害虫
7月8日	栃木県	水稻	イネカメムシ
7月9日	神奈川県	トマト、キュウリ	タバココナジラミ
7月9日	千葉県	水稻	大型斑点米カメムシ類、 カスミカメムシ類
7月9日	福井県	水稻	斑点米カメムシ類
7月10日	山形県	おうとう	褐色せん孔病
7月10日	茨城県	水稻	斑点米カメムシ類
7月10日	新潟県	水稻	斑点米カメムシ類
7月10日	北海道	果樹 (りんご、ぶどう等)	果樹カメムシ類 (チャバネアオカメムシ等)
7月10日	福島県	果樹 (りんご、ナシ、モモ等)	果樹カメムシ類 (チャバネアオカメムシ、 クサギカメムシ、ツヤアオカメムシ)
7月11日	三重県	水稻	斑点米カメムシ類
7月11日	鳥取県	水稻	斑点米カメムシ類
7月14日	滋賀県	野菜類、花き類、ダイズ	オオタバコガ

発表月日	都道府県	対象作物	対象病害虫
7月14日	島根県	水稻	斑点米カメムシ類
7月14日	長野県	水稻	斑点米カメムシ類
7月14日	栃木県	水稻	斑点米カメムシ類 (クモヘリカメムシ、ホソハリカメムシ、 イネカメムシ、ミナミアオカメムシ、 イネホソミドリカスミカメ、 アカスジカスミカメ)
7月15日	岩手県	りんご	リンゴ褐斑病
7月15日	岩手県	水稻	斑点米カメムシ類
7月16日	福島県	水稻	斑点米カメムシ類 (アカスジカスミカメ、クモヘリカメムシ、 アカヒゲホソミドリカスミカメ等)
7月16日	長崎県	早期・普通期水稻	穂吸汁性カメムシ類
7月16日	愛知県	水稻	斑点米カメムシ類 (イネカメムシ、カスミカメ類、 ミナミアオカメムシ等)
7月17日	兵庫県	水稻	斑点米カメムシ類 (イネカメムシ、ミナミアオカメムシ、 クモヘリカメムシ、カスミカメムシ類)
7月17日	長野県	水稻	イネいもち病
7月17日	滋賀県	水稻	斑点米カメムシ類
7月18日	宮城県	水稻	斑点米カメムシ類
7月18日	群馬県	水稻	イネカメムシ
7月18日	岐阜県	水稻	斑点米カメムシ類 (ホソハリカメムシ、イネカメムシ、 アカスジカスミカメ等)
7月18日	北海道	水稻	アカヒゲホソミドリカスミカメ
7月18日	北海道	てんさい	シロオビノメイガ
7月18日	京都府	水稻	斑点米カメムシ類
7月22日	大分県	白ネギ	ネギアザミウマ

発表月日	都道府県	対象作物	対象病害虫
7月22日	徳島県	野菜類 (サツマイモ、冬春イチゴ (育苗期))	ハダニ類
7月22日	徳島県	果樹類 (ナシ)	ハダニ類
7月22日	鳥取県	水稻	斑点米カメムシ類 (アカスジカスミカメ、クモヘリカメムシ、 ホソハリカメムシ、トゲシラホシカメムシ、 シラホシカメムシなど)
7月22日	福岡県	水稻	斑点米カメムシ類
7月23日	埼玉県	水稻	イネカメムシ
7月24日	富山県	水稻	斑点米カメムシ類 (アカスジカスミカメ等)
7月24日	兵庫県	アブラナ科の野菜類 (キャベツ、はくさい、 ブロッコリー、だいこん、 チンゲンサイ等) 及び花き類 (ストック等)	ハイマダラノメイガ (別名：ダイコンシンクイムシ)
7月25日	広島県	水稻	斑点米カメムシ類 (アカスジカスミカメ、イネカメムシ、 クモヘリカメムシ等)
7月25日	山形県	りんご、もも、なし、かき等	果樹カメムシ類 (クサギカメムシ・チャバネアオカメムシ)
7月25日	秋田県	りんご、なし、もも	果樹カメムシ類 (チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ)
7月25日	北海道	大豆	マメシンクイガ
7月28日	岩手県	りんご	果樹カメムシ類
7月28日	岩手県	水稻	斑点米カメムシ類 (特に、アカスジカスミカメ)
7月28日	沖縄県	マンゴー	マンゴーハフクレタマバエ
7月29日	埼玉県	水稻	斑点米カメムシ類 (アカスジカスミカメ、ホソハリカメムシ、 イネホソミドリカスミカメ、クモヘリ カメムシ)
7月29日	鳥取県	ネギ	ネギ軟腐病
7月30日	富山県	キク、その他野菜・花き ・果樹類	タバコガ類 (オオタバコガ・タバコガ)
7月30日	富山県	白ネギ	ネギアザミウマ

発表月日	都道府県	対象作物	対象病害虫
7月31日	静岡県	かんきつ	チャノキイロアザミウマ
7月31日	静岡県	水稻	斑点米カメムシ類 (イネカメムシ、アカスジカスミカメ、 アカヒゲホソミドリカスミカメ)
7月31日	宮崎県	かんきつ	ミカンハダニ
7月31日	大阪府	水稻	斑点米カメムシ類
7月31日	岩手県	りんご	ハダニ類
7月31日	石川県	水稻	斑点米カメムシ類 (クモヘリカメムシ、アカスジカスミカメ、 ホソハリカメムシなど)
8月1日	愛知県	ダイズ、野菜類、花き類	シロイチモジヨトウ
8月1日	愛知県	ダイズ、野菜類、花き類、 果樹類(ブドウ等)	ハスモンヨトウ

注) 警報を発表するほどではありませんが、重要な病害虫が多発することが予測され、かつ、早めに防除措置を講じる必要がある場合に発表します。

特殊報

発表月日	都道府県	対象作物	対象病害虫
7月14日	島根県	ナシ	フタモンマダラメイガ
7月16日	千葉県	ウメ	クビアカツヤカミキリ
7月16日	千葉県	ブルーベリー、 アメリカテマリシモツケ	チュウゴクアミガサハゴロモ
7月17日	熊本県	ミシマサイコ	ミシマサイコ根朽病、 ミシマサイコ斑点病
7月17日	滋賀県	ウメ	クビアカツヤカミキリ
7月22日	京都府	ウメ	クビアカツヤカミキリ
8月1日	奈良県	カキ等の果樹および樹木類	チュウゴクアミガサハゴロモ
8月1日	大阪府	植木類 (ガマズミ、グレビレア等)	チュウゴクアミガサハゴロモ

注) 各都道府県において、新たな病害虫を発見した場合及び重要な病害虫の発生消長に特異な現象が認められた場合であって、従来と異なる防除対策が必要となるなど、生産現場への影響が懸念される場合に発表します。

病害虫の生態等の生物学的情報や防除に関する情報の詳細については、各都道府県の病害虫防除所のホームページ等を参照してください。

見慣れない病虫害被害が発生していた場合の対応

植物防疫法により、重要病虫害発生時の通報が規定されています。我が国未発生又は我が国の一部のみに発生している重要病虫害が、万が一国内の未発生地域に侵入した場合、国内の農業生産に重大な損害を与えたり、農産物の輸出を阻害するおそれがあります。こういった重要病虫害の侵入に伴う国内の農業生産や輸出への影響を防止するためには、国内の未発生地域への重要病虫害の侵入を早期に発見し、速やかに的確な防除を実施することが重要です。

農作物に見慣れない病虫害被害が発生していた場合には、最寄りの植物防疫所又は都道府県の病虫害防除所等にお知らせください。

植物防疫所の連絡先

参照URL：<https://www.maff.go.jp/pps/j/introduction/domestic/dsinnyuu/221121.html>

都道府県の病虫害防除所の連絡先

参照URL：<https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/yosatu/boujosho.html>

(地域)

北海道：北海道

東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

北東北：青森県、岩手県、秋田県

南東北：宮城県、山形県、福島県

関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

北関東：茨城県、栃木県、群馬県

南関東：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

甲信：山梨県、長野県

北陸：新潟県、富山県、石川県、福井県

東海：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県

北九州：福岡県、佐賀県、長崎県、大分県

南九州：熊本県、宮崎県、鹿児島県

沖縄：沖縄県

(発生量(程度))

多い(高い)：やや多いの外側10%の度数の入る幅

やや多い(やや高い)：平年並の外側20%の度数の入る幅

平年並：平年値を中心として40%の度数の入る幅

やや少ない(やや低い)：平年並の外側20%の度数の入る幅

少ない(低い)：やや少ないの外側10%の度数の入る幅

(平年値は過去10年間の平均)

(参考) 今後の発表予定日

第7号：令和7年9月10日(水曜日)

第8号：令和7年10月8日(水曜日)

第9号：令和7年11月12日(水曜日)

第10号：令和8年3月11日(水曜日)

(参考) これまでの発表

第1号：令和7年4月16日(水曜日)

第2号：令和7年5月14日(水曜日)

第3号：令和7年6月11日(水曜日)

第4号：令和7年7月9日(水曜日)

第5号：令和7年7月23日(水曜日)

【お問合せ先】

消費・安全局植物防疫課

担当者：岡田、城野、古澤

代表：03-3502-8111(内線4562)

ダイヤルイン：03-3502-3382